

2012 年度「理学部ハイライト研究」申請書

整理番号

2

1. 研究課題名	山口県および周辺地域の資源鉱物の産状と利用の可能性			
2. 研究代表者	所属・職	理工学研究科 地球科学分野 講師		
	氏名	永島 真理子		
	電話番号	5746		
	E-mail	nagashim@yamaguchi-u.ac.jp		
3. 研究組織(研究代表者及び研究分担者)	計 2 名			
	氏名	所属研究科(専攻等)	職名	役割分担
	永島 真理子	理工学研究科地球科学分野	講師	鉱物学的研究(構成鉱物の分析など)・考察・総括
	今岡 照喜	理工学研究科地球科学分野	教授	年代学的・岩石学的研究・考察
5. 研究の背景・目的・概要・準備状況・計画について記述してください。				
<p>背景 山口県やその周辺地域にはいまだに詳細に調査されていない有用資源鉱物が多く存在する。金属・非金属鉱物資源の確保は国家としての最重要課題のひとつであり、すでに歴史的役割を終えた鉱山も含めて国内の潜在的資源埋蔵量の再調査が必要とされている。</p> <p>目的 本研究は、主に山口県内の有用資源鉱物の産状・化学組成・利用可能性を鉱物学的・年代学的・岩石学的見地から総合的に検討し、その産状と形成過程を明らかにすることを目的とする。</p> <p>概要 2010-11 度のハイライト研究では非金属資源鉱物である「沸石」を研究対象としたが、本年度は金属資源を中心に検討を進める。今回研究対象とするのは、長登り銅山周辺地域に分布する銅鉱床である。本地域には大小多くの銅鉱床が存在する。本研究では、本地域の銅鉱床の鉱石鉱物を詳細に検討するとともに鉱床形成に係ったと考えられる周辺に分布する貫入岩体に関する岩石学的研究を行う。それらの結果を総括し、鉱床の形成過程・環境や年代などを明らかにすることを目的とする。それにより本地域に多く分布する銅鉱床の成因に関して共通の理解が得られると考えられる。</p> <p>準備状況 研究代表者は 2011 年度学部長裁量経費で本研究の予察的な研究を鉱物学的見地から行った。その結果、これまで報告されていない多くの鉱物群が存在することが明らかとなった。</p> <p>計画 引き続き鉱石鉱物の詳細な分析を行い、鉱床形成の環境や条件を鉱物学的視点から検討する(永島)。鉱床形成の熱源と考えられる近傍に分布する貫入岩体に関して野外調査・各種分析を行い、その形成過程や年代を決定する(今岡)。鉱物学的・岩石学的得られた知見に基づき、成因的考察を行う。</p>				
6. 研究のユニークな点、研究の将来性・展望、夢、について記述してください。緊急性がある場合は、その旨を記述してください。				
<p>研究の将来性・展望 県内の資源の再評価を行う事は、国としての資源確保の取り組みに貢献するものである。また、県内の資源の有効利用の研究に取り組む研究機関および地元業界との連携へと発展することが期待される。有用資源鉱物の研究は世界中で盛んに行われているが、日本国内は天然資源に乏しいことは周知のとおりである。そこで日本産(山口県産)の有用資源に関する再評価を行、本研究結果を継続的に国内外に公表する。さらに国指定天然記念物の秋吉台を金属資源の観点からも見つけ直す。</p> <p>夢 一般の人が理解しやすく、楽しめるような山口県内の有用資源鉱物マップ(「お宝マップ」)の作成。すでに準備中。</p>				
7.この課題による成果が将来どのように理学部に貢献するのか、について記述してください。				
<p>理学部において、山口県や周辺地域に産する有用資源物質の研究を行い、その成果を地域の人やコミュニティーに発信することで鉱物資源への興味・関心を喚起し、地域の活性化や理学部と地域の連携につながると考えられる。</p> <p>また理学部として、資源確保という緊要性の高い国の施策に貢献することができる。</p>				